

2024年6月期 第4四半期 決算説明資料

株式会社 旅工房
(証券コード6548)
2024年5月13日



次に行く旅は、きっと一生忘れない。

2024年6月期 第4四半期 決算概要

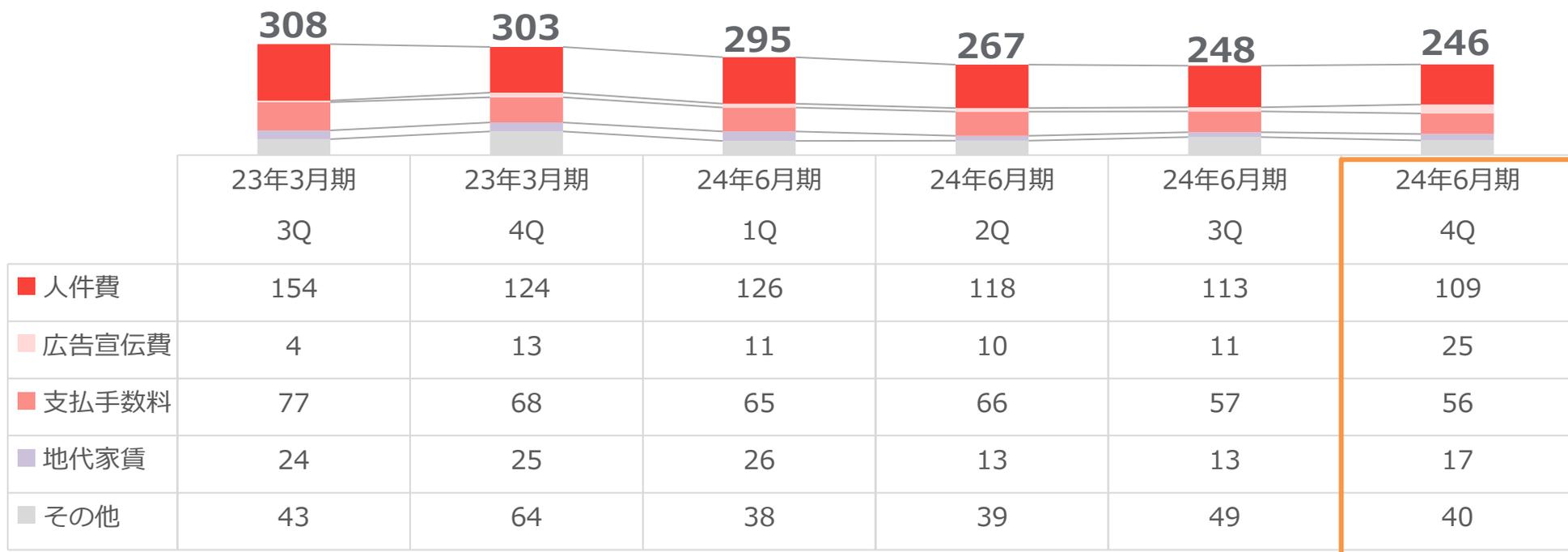


4Qは3Qに比べて旅行出発件数が多く売上/粗利が回復
また、株式交付費および支払利息の減少で
経常利益も改善

単位： 百万円	22/3期 3Q	22/3期 4Q	23/3期 1Q	23/3期 2Q	23/3期 3Q	23/3期 4Q	24/6期 1Q	24/6期 2Q	24/6期 3Q	24/6期 4Q	23/6期3Q 比較増減	23/3期4Q 比較増減	22/3期4Q 比較減額
売上高	355	296	193	268	250	550	519	851	666	736	+70	+186	+439
売上総利益	62	74	46	90	118	144	140	220	191	212	+21	+68	+138
販管費	394	425	379	308	303	295	267	248	246	249	+2	△46	△176
営業利益	△332	△350	△333	△217	△185	△151	△127	△28	△54	△36	+18	+115	+314
経常利益	△308	△347	△306	△218	△191	△162	△126	△36	△89	△36	+53	+125	+311

広告宣伝費の積極的投資を開始 地代家賃の増加は一時的な要因で5Q以降は減少予定

単位：百万円



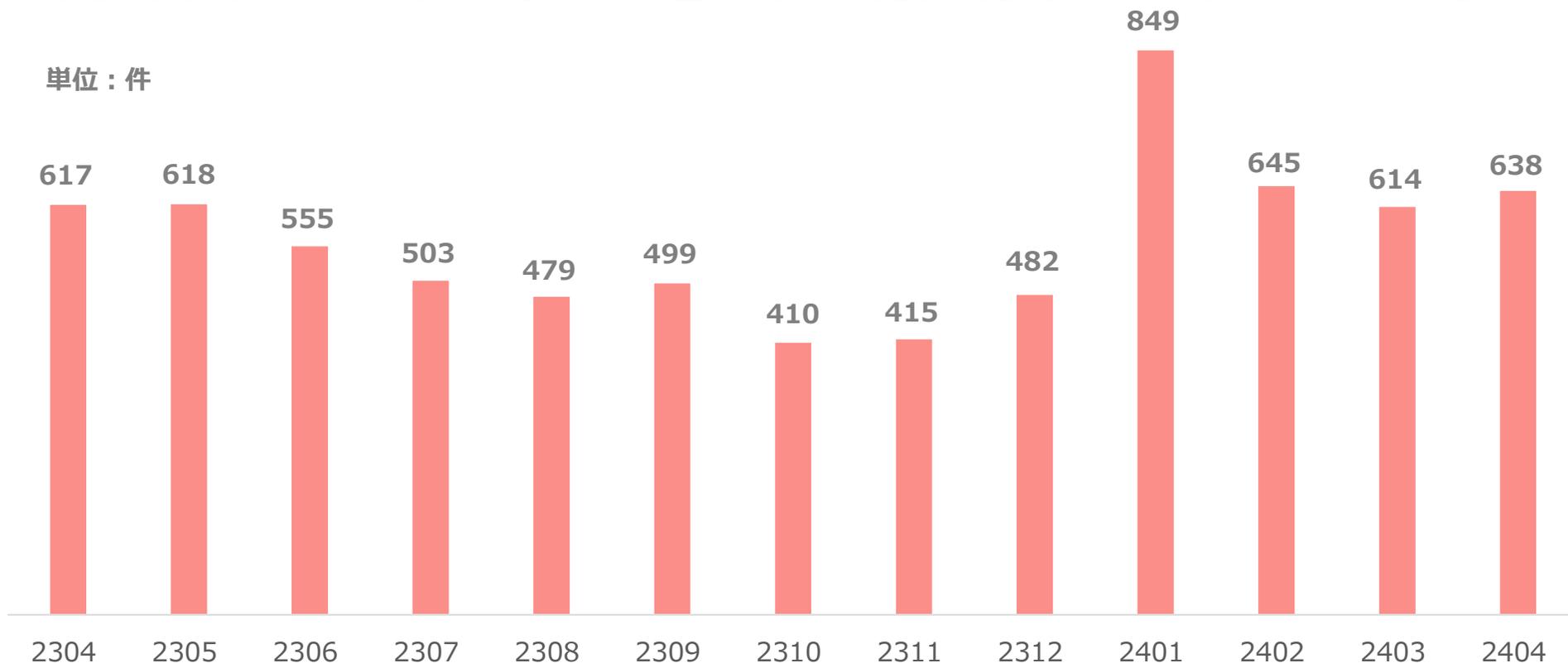
前四半期（3Q）の増資により財政状態は健全に推移

単位：百万円	23年3月期 期末	24年6月期 3Q末	24年6月期 4Q末
総資産	1,846	3,560	3,438
自己資本	△1,093	2,298	2,261
自己資本比率	△59.2%	64.6%	65.8%
有利子負債	2,299	500	500
現金及び預金	827	2,488	2,512
運転資本*	156	112	66
敷金・保証金・預け金等	313	265	247

* 運転資本 = 流動資産（除く現金及び預金） - 流動負債（除く短期借入金）

広告運用の効率化や商品ページの更新頻度の改善などで
足元の受付件数は堅調に推移
更なる伸長のためには商品造成や予約受付の人員の増員*₂が必須

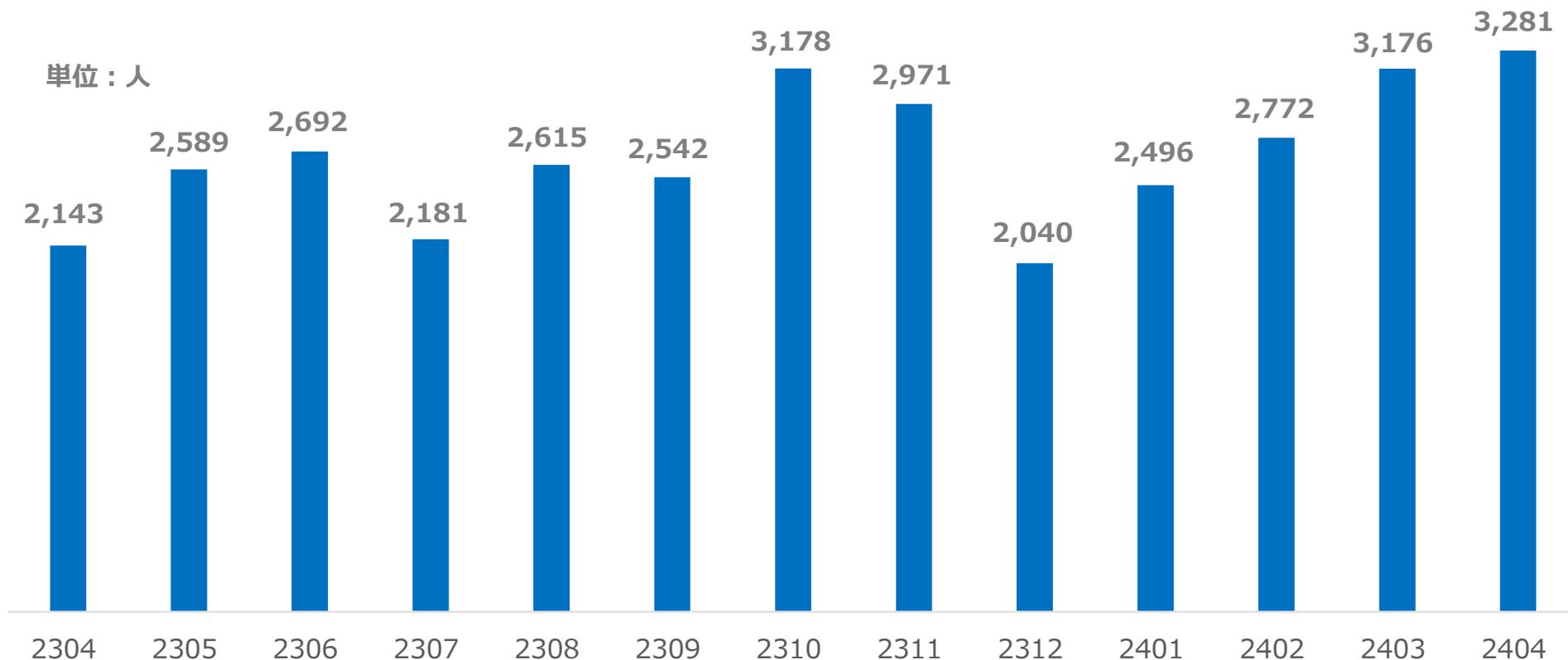
単位：件



*₁ 受付件数と最終成約件数（売上に直接つながる数値）の間には成約するか否かやキャンセルなどで差異が出ます。
また、当社は旅行の帰着日で売上計上をしているため、受付と売上計上時期には乖離があります。

*₂ 24/6期4Q末の人員数は、正社員65名、そのうち17名が予約受付人員、8名が商品造成人員となっております。

以前プレスリリースをしていた*1トランスファータ社*2との業務提携によるクラウド型出張手配管理サービス経由の受注が堅調



*1 2018年8月16日のプレスリリース (<https://about.tabikobo.com/news/press/2018/08/180816/>)

*2 旧AIトラベル社 (<https://transferdata.co.jp/>)

2024年6月期 通期業績予想



**5Q（業績予想期間）は4Qと比べて
旅行出発件数が少なく売上/粗利が減少
一方、販管費に関しては広告宣伝費などの投下を継続**

単位： 百万円	実績								24/6期 5Q予想	前 Q 比較増減	前年 同期間 比較増減	前々年 同期間 比較減額
	23/3期 1Q	23/3期 2Q	23/3期 3Q	23/3期 4Q	24/6期 1Q	24/6期 2Q	24/6期 3Q	24/6期 4Q				
売上高	193	268	250	550	519	851	666	736	564	△172	+44	+370
売上総利益	46	90	118	144	140	220	191	212	141	△71	+1	+95
販管費	379	308	303	295	267	248	246	249	244	△4	△22	△135
営業利益	△333	△217	△185	△151	△127	△28	△54	△36	△102	△66	+24	+230
経常利益	△306	△218	△191	△162	△126	△36	△89	△36	△104	△68	+21	+202

免責事項

- この資料は投資家の皆様の参考に資するため、株式会社旅工房（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、作成日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 当資料に掲載されている内容は、資料作成時における当社の判断であり、作成にあたり当社は細心の注意を払っておりますが、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、内容についていかなる表明・保証を行うものでもありません。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。